

平成26年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 公益財団法人愛知水と緑の公社 下水道部	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 下水道部管理課 鬼頭昌子
代表者氏名 下水道部長 福井康二	電話：052-971-3045 FAX：052-971-3053 E-mail：awg-g-ij@pluto.plala.or.jp
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 2) 広報部門①行政広報部門	事例名 大学との連携による広報活動
-----------------------	----------------------

事例の概要(適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)

「食」に関する専門家を育成している名古屋文理大学と連携して普及啓発事業に取り組むことにより、効果的で幅広い広報活動が展開できている。

①下水道特別講義

1年生の調理実習において、下水道の特別講義を行っている。平成22年～25年までで合計261名の学生に行った。下水道の概要説明及び調理排水の簡易水質分析を実施した。



写真1) 下水道特別講義

②エコクッキングおよびエコレシピの提案

大学に水環境にやさしい調理法であるエコクッキングや、油や水の使用を抑えた水環境に優しいレシピであるエコレシピを提案してもらい、チラシを作成した。各種イベントで紹介している。



写真2) 親子エコクッキング教室

③親子エコクッキング教室～下水道について学ぼう～の開催

公社は下水道や水環境についての講義と洗い方教室、大学はエコクイズとエコレシピ調理を担当し、楽しみながら親子で下水道や水環境について学んでもらうイベントとなっている。



写真3) 大学祭

④大学祭など他のイベントでの活動

大学祭で公社ブースを設置し、顕微鏡による微生物観察やエコレシピの紹介を行い、下水道のPRをしている。

⑤大学による出前授業の実施

大学が小学校・中学校等で調理実習の出前講座を行う際に下水道についての講義や、エコレシピの紹介と調理を行っている。

⑥調査研究の実施

エコクッキングの効果検証のため、調理排水負荷量の調査を行い、大学により日本栄養改善学術総会で共同研究者として発表された。他分野で下水道について発表する機会ができた。

公社は調査結果を下水道講義の説明に活かしたり、啓発チラシを作成した。また、普及啓発活動の取り組みとして下水道研究発表会で発表した。



図1) 啓発チラシ

エントリー事例の特徴(施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います)

連携することで、公社・大学ともに普及啓発の幅が広がり、メリットがある。

- ①将来は管理栄養士として働く大学生に、下水道について理解を深めてもらい、調理排水の良質な排水管理につなげる。
- ②一般の方に、調理という身近なところから下水道について考えてもらうことができる。
- ③連携して調査を行うことで、大学での発表や、出前講座等での紹介等、他分野で下水道の啓発をすることができる。